

学術研究フォーラム
第5回 学術シンポジウム

科学の限界と
技術の限界?
—「想定外」を考える—

「学術研究フォーラム」は、学術の振興と社会発信を願う研究者たちによって平成14年4月に設立された任意団体で、これまで学術研究セミナー、シンポジウム、懇談会等を開催してきました。

今回は、東日本大震災で被災した仙台で、(独)日本学術振興会、東北大学とともにシンポジウムを開催することになりました。

今年3月11日(金)の東北地方太平洋沖地震とそれに伴って発生した大津波、及び大地震と大津波により引き起こされた深刻な原子力事故(福島第一原子力発電所事故)は、戦後最悪の災害となりましたが、多くの研究者にとって「想定外」で済ますことは許されないことから、これらを、科学の限界と技術の限界?といった視点から議論することを企画しました。

研究者はもとより、技術者、企業関係者、ジャーナリストをはじめ、市民の皆様方等各方面の方々にご参加いただきますよう、ご案内申し上げます。

平成23年 **10月29日(土)** 14:00-17:30
(開場13:30)

会場：東北大学片平キャンパス
エクステンション教育研究棟 2階 講義室201A

入場無料

■ プログラム

総合司会：飯島 敏夫 東北大学研究担当理事

開会挨拶 阿部 博之 学術研究フォーラム代表幹事、科学技術振興機構顧問、東北大学元総長

挨拶 安西祐一郎 (独)日本学術振興会理事長

歓迎の挨拶 井上 明久 東北大学総長

特別講演 金森 博雄 カリフォルニア工科大学名誉教授
奈良林 直 北海道大学大学院工学研究院教授

パネル討論会 司会 石井 紫郎 学術研究フォーラム代表幹事、日本学士院会員、
東京大学名誉教授

シンポジスト 金森 博雄 カリフォルニア工科大学名誉教授
奈良林 直 北海道大学大学院工学研究院教授
首藤 伸夫 東北大学名誉教授
長谷川 昭 東北大学名誉教授
芳賀 満 東北大学高等教育開発推進センター教授

閉会挨拶 石井 紫郎

■ 申込方法 事前の申込みが必要です。

会場の収容定員に限りがございますので、定員に達し次第お申し込みを締め切らせていただきます。

お申し込みは、Web掲載の「参加受付フォーム」にお名前、ご所属区分、所属機関名、ご連絡先をご記入の上送信いただくか、A4用紙(書式自由)に「学術シンポジウム参加」と明記の上、お名前、ご所属区分(大学関係者及び研究機関、高専、企業、報道機関、学生、その他等)、所属機関名、ご連絡先(e-mailまたはTEL)をご記入いただき、お申込み・お問い合わせ先にお申込みください。お申し込み締切り：平成23年10月24日(月)



徒歩：JR仙台駅から約15分
タクシー：東北大学片平キャンパスまで(JR仙台駅から約5分)
市営バス：JR仙台駅西口バスプール11番のりばより「蓋屋橋・動物公園 経由緑ヶ丘三丁目」乗車、「東北大正門前」下車(約10分)

主催：学術研究フォーラム、(独)日本学術振興会、東北大学

お申込み・お問い合わせ先

東北大学研究協力部研究協力課 〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2丁目1-1
E-mail : forum@bureau.tohoku.ac.jp 電話 : 022-217-4840 FAX : 022-217-4841
URL : http://www.tohoku.ac.jp/japanese/2011/10/event20111004.html

